

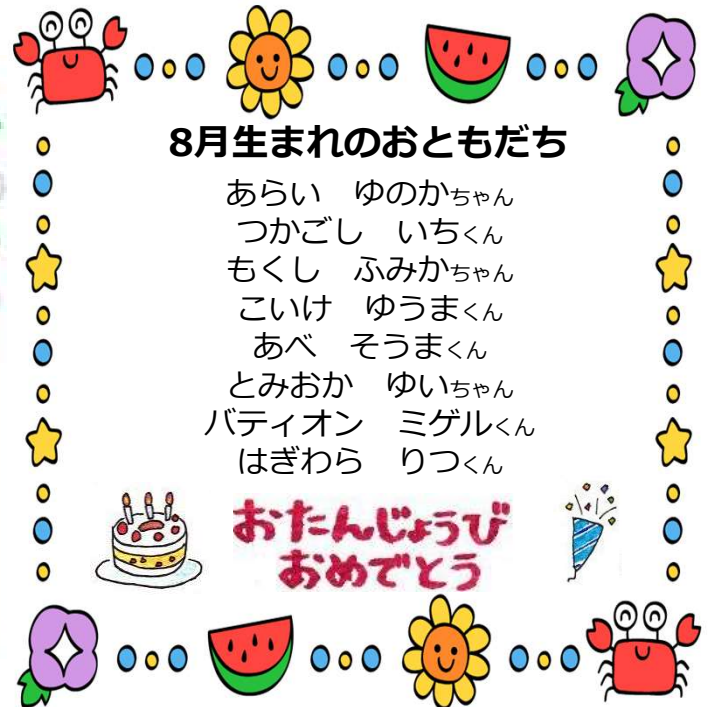
8月の園だより

夏本番！

ようやく梅雨が明け、眩しい太陽の陽射しと共に夏がやってきました！
 子どもたちは、汗をかきながらも元気に動きまわって遊んでいます。
 一日三食しっかりと食べて、十分な休息をとり、暑さに負けない体力づくりを
 心掛けましょう。





8月 行事予定	
8/ 4(水)	} 体操の日
11(水)	
18(水)	
25(水)	
8/ 6(金)	避難訓練
8/13(金)~16(月)	お盆期間希望保育
8/20(金)	身体測定・お誕生日会
8/27(金)	プール遊び最終日



8月生まれのおともだち

あらい ゆのかちゃん
 つかごし いちくん
 もくし ふみかちゃん
 こいけ ゆうまくん
 あべ そうまくん
 とみおか ゆいちゃん
 バティオン ミゲルくん
 はぎわら りつくん


**おたんじょうび
おめでとう**


お願いとお知らせ

プール遊びについて

- プール遊び期間は、**午前9:00までに登園**ください。
- 引き続き、爪切りや耳掃除などプール遊びに備えましょう。
(週に一度は爪のチェックをしてあげてください)
- プール遊びは、**8月27日(金)で終了**となります。
- クラス担任の判断により、晴天でも急遽、当日のプール遊びが中止となる場合があります。ご了承ください。



新しい先生の紹介

- 杉原 友恵先生 調理補助としてお世話になります。宜しくお願い致します。



寄付のお願い

- ボックスティッシュ 1箱
 - ぞうきん 1枚
- ご寄付をお願いします。
 共同品として使わせていただきますので、ご用意ができましたらお持ちください。
 どうぞ、よろしくお願い致します。

夏の体調管理について

暑いと食欲がなくなりがちです。夏を元気に乗り切るために、必ず朝食をとりましょう。バナナや食パン、おにぎりなど食べやすいものを一口食べるだけでも元気ができます。また、外に出るときは必ず帽子をかぶるよう園児には声掛けをしています。園指定の帽子を忘れずに持参してください。



夏に流行る感染症

夏のウイルス性感染症の発症時期は5月から8月。今回は、手足口病やヘルパンギーナ、プール熱などウイルスが原因である感染症を中心に、夏の感染症の症状を紹介します。感染症は子どもだけでなく大人も注意しましょう。

手足口病	ヘルパンギーナ	プール熱	とびひ
<p>◆主な原因ウイルス◆ コクサッキーA16、 コクサッキーA10、 エンテロウイルス71… 原因であるウイルスは10種類以上ある</p> <p>◆症状など◆ 手足の水疱と口内炎ができる夏風邪の一種。胃腸風邪ウイルスからくる少々の下痢の症状を伴う。初日から2日目に熱が出るが、それ以後熱は出ず、5日ほどで症状は回復する。</p>	<p>◆主な原因ウイルス◆ 原因ウイルスは多数あるといわれているが、主にコクサッキーA群だと考えられている</p> <p>◆症状など◆ 高熱が長く続き、のどの奥に口内炎ができる特徴がある。予防接種はないので、毎年発症する子どももいる。</p>	<p>◆主な原因ウイルス◆ アデノウイルス</p> <p>◆症状など◆ 正式には「咽頭結膜熱」といい、7月から9月のプールに入る時期に流行ることから通称プール熱と呼ばれている。高熱を伴い、のどと目の両方に炎症を起こす。死亡例も報告されており、重症化する可能性が大きい病気。治った後もウイルスが咽頭や便からうつるケースが多い。</p>	<p>◆とびひには、水疱性膿痂疹（すいほうせいのうかしん）「水疱」ができるものと痂皮性膿痂疹（かひせいのうかしん）「かさぶた」ができるものの2種類がある。とびひの多くは水疱性膿痂疹で黄色ブドウ球菌が原因となる。夏に発生することが多く、主に0～6歳の乳幼児に発症する。</p> <p>◆症状など◆ 皮膚の一部に膿をもった水ぶくれ膿疱（のうほう）ができる。かゆみを伴うが、発熱はあまりない。</p>

家庭でできる「感染症予防対策」

- 外出先から帰ったときや食事前の手洗いを習慣づける
- 体全体の免疫力を高めておくことも予防のポイントです
休養を充分にとり、栄養バランスがとれた食事をしましょう
- 特に粘膜の材料となるたんぱく質や、免疫細胞を強化するビタミンA・C・E、腸を元気にする乳酸菌や食物繊維などを意識して摂りましょう
- 日焼けをして肌が乾燥すると、免疫力の低下につながることも忘れずに

今月も、最後までご覧いただきありがとうございました。

